

2017

ぶうげん
びりあ12
月号

No.293

ホームページ <http://www.hahashouchu.ogasawara.ed.jp/>

みんなで生きる

校長 横山 優美

いよいよ師走に入りました。子供たちはロードレース大会に向けて一生懸命に走り込んでいます。体力増進と力強い走りを期待しています。

学芸会には多くの皆様にご来校いただき、たくさんの拍手と温かいご声援をいただきました。本当にありがとうございました。本当にありがとうございました。大きな行事を仲間と共につくり上げた喜びや達成感の子供たちのこれからの大きな自信と励みになることでしよう。

さて、11月は「ふれあい月間」でした。東京都教育委員会は、「心の東京革命」教育推進の一環として、6月、11月、2月を「ふれあい月間（いじめ防止強化月間）」と定めています。本校でも、児童生徒へのアンケートを実施し、必要な児童生徒への面談や、アンケートに対応した組織的な指導を行ってきました。また、未然防止のため、道徳授業、学級活動等、学校の教育活動のあらゆる場面を通して、いじめを生まないあたたかな心あふれる学校づくりのための指導を今後も引き続き行っていきます。

さらに、12月4日～10日は人権週間です。子供たちと共に人権について考えていきたいと思えます。

人権（human rights）とは「人間としての権利」のことです。人は生まれながらにして幸せに暮らす権利があり、その権利を奪ったり脅かしたりしてはならないことなのです。ですから、仲間はずれや無視するなどのいじめにつながるような行いも絶対にあってはならないのです。

しかし、人権は人にとって水や空気のように当たり前であり、人が生きていく上で絶対必要ですが、あまりに当たり前なので普段はあまり意識されていないように思います。でも、断たれば「命」までも奪われるものなのです。

人権が侵害される時、そこには人の「偏見」と「差別」が生じています。「偏見」とは、かたよった見方、考え方、意見などのことをいいます。しっかりとした根拠がないのに、他人や集団などを否定したり、嫌ったり、避けたりする言動や感情のことです。「差別」とは本人の努力によってどうすることも出来ない事柄で不利益な扱いを受けることです。では、偏見や差別を防ぐためにどうしたらよいのでしょうか。それには、「正しい認識」をもつこと、「真実」を知ることがとても重要なのです。

人は見た目で90%を判断するとも言います。見た目というのはその人のほんの僅かな情報だと思えますが、人はそれだけで他人を判断しがちです。これが偏見や差別につながっていく要因にもなります。子供たちの様子を見ていても、見た目やまわりの雰囲気流されてしまうことが往々にしてあります。加減をしないで徹底的に相手を追い込んでいくこともあります。傷つく言葉を相手に浴びせても、悪びれる様子もなく平然としていることもあります。きちんとした根拠や事実がないのにその場の雰囲気流されて相手を非難することもあります。

だから、人権教育が必要なのです。その教育の中で「違いを互いに認め合う」ことが大切だと教えることが重要です。子供たちにも分かりやすい言葉で表現すると、「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること」です。友達と自分の違いを認め合い、互いに支え合いながら生活していくことの大切さについて考えさせていきます。いろいろな価値観を認め合える、時には譲歩をする、時に自己主張をする、そんなことができる子供たちを育てていきたいと思えます。

人権週間：12月4日（月）～10日（日）

みんなで築こう 人権の世紀 ～考えよう 相手の気持ち 未来へつなげよう 違いを認め合う心～

「なけて、なけて、わあーん。」今でも思い出してついつい笑ってしまうあのシーン。1年生にとって初めての学芸会。一つ一つセリフを一生懸命に話す姿が微笑ましかったです。そこにそれぞれの演技で観客を笑わせながらも、しっかりと劇を作り出せる2年生が加わり、見ている人の心をほっとあたたかい気持ちで包み込んだ1，2年生の「おとぼけ村」。

「ハクナマタタ〜♪いい言葉だ〜♪」ミルクタイムに、昼休み、誰かが歌い出すと決まって大合唱になっていたこの歌。3，4年生の「ライオンキング」はその元気いっぱい10人の「全力で劇を楽しむ」という気持ちがたくさんつまっていました。

「しばって、きざんで、カクテルに！！」ついつい口ずさんでしまうこのフレーズ。笑いあり、驚きあり、感動あり、大いに観客を魅了した、5，6年生の「魔法を捨てたマジョリン」。5，6年生のチームワークとそれぞれの個性がマッチした最高の劇でした。

今年度の学芸会はそれぞれの学年のよさが十二分に発揮された劇ばかりでした。子供たちが日々の学習や学芸会を通じて積み重ねてきた経験と演技力の成果だったと感じます。子供たちが今年の経験をさらなる自信に変えて、来年どんな姿に成長するのか、今から楽しみです。

広くて素敵な宇宙じゃないか

学芸会担当（中学校）

隣の人とハイタッチをして「はい！はい！はい！」…毎回の劇練習の後に、生徒も教員も一つの輪になって、決まった掛け声を掛けました。この瞬間だけは、その日どんなに練習が上手くできなくても笑顔になれました。劇練習の当初は、生徒たちは膨大なセリフに驚きながらも、役が決まると担当の先生と一緒に練習に打ち込んでいました。気が付くと、セリフは頭に入り、分厚い台本が書き込みでくたくたになっていて、振り付けまで生徒たち自身で考えどんどんと加えていました。「これこそ中学生だな」と見ていて感じました。練習において「一生懸命やっているのに、成果が表れない」と、何度も葛藤があったことでしょう。劇中、主人公のおばあちゃんが「ごらんなさいよ、広くて素敵な宇宙じゃない！」と語りかける場面の演出を、印象的に仕上げようと、教員も生徒も一緒になって意見を出し合い、最高の演出を考えました。そういった経験が、きっとこの先思い返したときに、生徒たち自身が「全力で取り組めた」と自分を成長させる力になっていくのだと思います。

本番後の学活では、中学3年生から、聞き手が思わず涙を流してしまうような感謝の言葉がありました。自然に感謝の言葉を言いたくなり、この仲間たちと劇を創り上げられたことを誇りに思えたなら、この劇は大成功だったと思います。中学生にとって今後に向けた強いバネとなる素晴らしい作品になったことでしょう。

南崎校外学習(ネコ柵)

小学校5年担任

「今年は、南崎でカツオドリの雛が2羽巣立った！」

この事実の裏に、どのような思いや積み重ねがあるのか。南崎校外学習をしなければなかなか知る機会はありません。台風で壊れたネコ柵を直す人、ネコカゴや海鳥を地道に調査する人、保護した野ネコを飼えるようにする人など、目に見えない努力や自然保護活動に携わる人などの思いに目を向けることを南崎校外学習では大切にしました。

「ネコカゴを背負う・ネコ柵の中に入るという体験！」

校外学習の前には、I-BOの〇〇さんに「海鳥を守る取り組み」「小笠原の自然」の授業をしていただき、南崎への関心はより高まっていきました。当日は、☆☆さんに同行していただき、ネコカゴを背負って歩いたり、ネコ柵の中に入って営巣地を観察したりする体験をしました。ネコカゴを背負って歩く大変さ、海鳥と出会えた喜び、ネコ柵の中を一步一步慎重に歩く緊張感など、一つ一つの活動から感じる気持ちこそが貴重な経験となりました。「活動する人の気持ち、ネコや生き物の気持ち、母島という環境、この3つのことを考えて学習してほしい」という宮城さんの言葉の通り、意欲的に考えながら学習に取り組む5年生の姿が見られました。

事前授業



いざ、ネコ柵の内部へ！



島しょ教育研修会

研究主任

11月13日から5日間の日程で「島しょ教育研修会」が行われました。今年度の本校の研究テーマは「考えをもち、広げ、深める児童・生徒の育成」です。確かな学力を身に付けさせるために、多様な視点から考察し、筋道を立てて課題に取り組む力を育成しようという意識をもって授業を行っています。そして、東京都教職員研修センターより先崎指導主事を招き、2つの研究授業（「小学校2年生（算数）」と「中学校1年生（英語）」）とその協議会、教員向けに3つの研修会を行いました。

小学校2年生（算数）の授業では、三角形と四角形の特徴を考えて、形を当てるという「形クイズ」をしました。初めは「なんとなくこれは三角形かな。」と答えていたものが、授業を進めていくにつれて、「頂点の数が3個で、辺の数が3つだから三角形だ。」というように、形を決定づける理由をしっかりと答えることができました。

中学校1年生（英語）の授業では、「ロボットのプレゼンテーションをしよう」という単元において、国語科の授業との関連性を意識した授業になっていました。国語・英語の両授業でロボットの性能を紹介し、そこで出てきた品詞を日本語と英語の両面から見ていました。

また、すべての教員が指導主事に授業を指導していただき、授業の質の向上を図ることのできた1週間となりました。この成果を今後の授業で生かしていきたいと思います。

12月の生活指導

生活目標

「1年を振り返り、新しい年を迎えよう」

- ・自分の生活を振り返ろう。
- ・来年の目標を決めて取り組もう。
- ・冬休みも規則正しく生活しよう。

安全指導 4日(月)

「公共施設の使い方」が、重点指導目標です。

体育館、村民会館、公園、保育園の園庭など色々な年齢の子供が集まる場所での安全な遊び方やシャワー室、船待ちなど公共施設でのマナーの確認、自転車の置き場所を考えて行動できるように指導します。

避難訓練 予告なし

地震発生による津波の来襲を想定した避難訓練を行います。今回は、日時を予告しません。

津波の際の避難経路や集合場所を確認させ、診療所までの最短経路を考え、学校からC線を走って診療所へ避難させます。安全に素早く行動すること、誘導者の指示に従って避難行動がとれるようにします。

冬季休業中の図書室一般開放日

○期 間

平成29年12月26日(火)～12月28日(木)

平成30年 1月 4日(木)～ 1月 5日(金)

○利用時間

9:00～12:00 / 13:30～16:30

個人面談のお知らせ

○実施期間

12月4日(月)～12月15日(金)

○内 容

- ・2学期の学習や生活の様子
- ・冬季休業中の過ごし方 他

※特に話題にしたいことなどがありましたら、事前に担任までお知らせください。

表彰のお知らせ

〈石田波郷俳句大会〉「入選」

「くじらたち 海の中での コンサート」

小学校5年 ○○くん

「おしよせる くじらのダンス 船の上」

小学校5年 ●●さん

〈未来に残そう青い海図画コンクール〉

優秀賞 中学校2年 ●●さん

佳 作 中学校2年 ●●さん



●●さんの作品



●●さんの作品

冬季休業中の学習教室

○期 間

平成29年12月26日(火)～12月28日(木)

12月の主な行事予定

1	金		16	土	
2	土		17	日	
3	日		18	月	朝礼(保健指導)
4	月	朝礼(安全指導) 個人面談始	19	火	50周年壁画制作 校内ウインターコンサート
5	火		20	水	
6	水	LINE講習会(保護者) 18:30～	21	木	大掃除・周辺美化
7	木	LINE講習会(小5,6、中)	22	金	
8	金	ロードレース大会	23	土	天皇誕生日
9	土		24	日	
10	日		25	月	終業式
11	月	小中朝礼 デザートの日	26	火	冬季休業日始 図書室一般開放 学習教室(中)
12	火		27	水	図書室一般開放 学習教室(中)
13	水	租税教室(小6、中3)	28	木	図書室一般開放 学習教室(中)
14	木	ロードレース予備日①	29	金	
15	金	ロードレース予備日② 個人面談終	30	土	
			31	日	

SC在島

3学期 始業式 1月9日(火) 通常登校